（第２期）長野県木曽地域における基本計画の概要

計画のポイント

木曽地域は、山々に囲まれ森林や水資源の自然環境や多様な農林水産物に恵まれているとともに、自然や歴史的な文化財等の観光資源を数多く有する。また、自動車部品等の加工組立技術やろくろ細工等の木材加工技術を持つ企業が集積している。これらの地域の特性を活用して、付加価値の高い産業基盤を構築し、地域経済の持続的な発展を目指す。

促進区域

長野県木曽地域（上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村）

経済的効果の目標

促進区域で302百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①～⑦のいずれか）】

①加工組立関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野
②白菜、赤かぶ、牛肉等の特産物を活用した農林水産分野
③ＩＣＴ関連産業の集積を活用したデジタル分野
④御嶽山、妻籠宿等の観光資源を活用した観光・スポーツ・文化・まちづくり分野
⑤豊富な森林資源や木曽川の水資源等の自然環境を活用した環境・エネルギー分野
⑥地域の事業者が保有する木材加工技術を活用した木工・建築分野
⑦赤沢自然休養林等の自然環境を活用したヘルスケア・教育サービス分野

【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：4,250万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

●取引額：6.3%増加　●雇用者給与等支給額：8.0%増加
●売上げ：6.3%増加

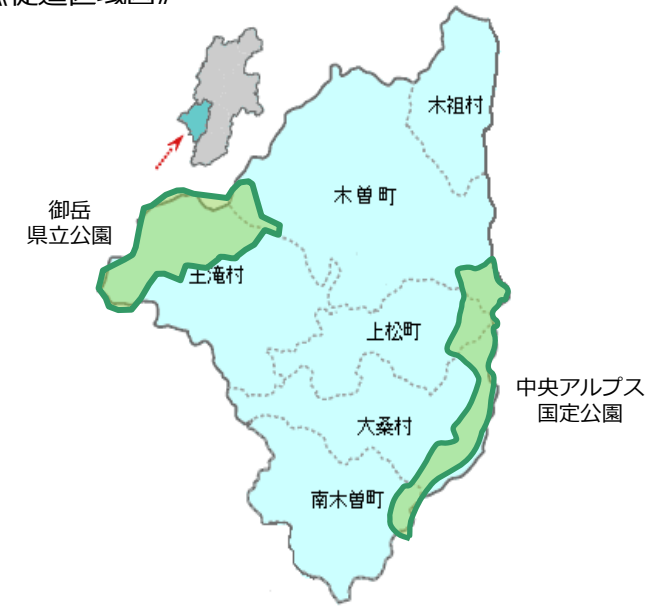
制度・事業環境の整備

・固定資産税等の減免措置の創設、地方創生関係施策
・産業用地情報の逐次開示、公設試験研究機関が有する研究成果・知的財産等の情報提供
・事業者からの事業環境整備の提案への対応
・企業立地の促進、人材育成と人材確保の支援、インフラの整備の促進

地域経済牽引支援機関

長野県工業技術総合センター、(公財)長野県産業振興機構、長野県上松技術専門校、長野県林業大学校、(株)日本政策金融公庫、長野県商工会連合会木曽支部、木曽ものづくりの会

《促進区域図》



木曽の伝統的工芸品《左：ろくろ細工、右：お六櫛》

計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで